

4社に記念の盾など

日測協九州、公共測量
品質管理優秀表彰式

日本測量協会（日測協）九州支部技術センター（山本宏章センター長）は16日、福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡博多ステーションで第21回公共測量品質管理優秀賞の九州地区表彰式を開いた。基準点測量部門で扇精光コンサルタンツ（長崎市）と精巧エンジニアリング（大分県由布市）、対馬開発コンサルタント（長崎県対馬市）、地図作成部門で復建調査設計（広島市東区）が優秀賞を受賞し、日測協の廣田三成理事から記念の盾などが手渡された。

受賞者らによる記念撮影



廣田理事は「公共工事において測量の出来は、その次の作業工程や精度に大きく影響する。表彰を契機に、一層の品質管理に努めていただきたい」と祝辞を述べた。

扇精光コンサルタンツの安部清美社長は「日頃から職員に対して厳しく測量の

品質管理に取り組むよう伝えてきた。受賞を糧に、品質管理を一層徹底したい」、精巧エンジニアリングの吉野俊輔代表取締役は「今後、新技術の積極活用や後進への技術継承に取り組み、公共測量を通じた社会貢献に努めていく」と意気込みを語った。

対馬開発コンサルタントの乙成隆樹代表取締役は「高い責任感と誠実な姿勢で一つ一つの業務に当たってきたことが評価されたといい、非常に励みになった」、復建調査設計の後藤正孝九州支社長は「これからも技術者育成と高品質の確保に向けて日々、努力していく」と話した。

同賞は公共測量成果検定

で特に品質管理が優れていた作業機関を表彰するもの。今回は2024年度に受検した企業の中から全国で基準点測量部門28社、地図作成部門7社の計35社が選ばれた。